

教育学部 カリキュラム・ポリシー

教育学部は、建学の精神にのっとり、義務教育諸学校等・保育所における有為な教育者、保育者等を育成することを目的としています。この目的を達成するために、次のように教育課程を編成します。

- ①建学の精神の理解を図るため、「宗教学」を全学共通の必修科目として開講します。
- ②実践的指導力に優れた教員等の養成を目指し、国語、社会、数学、理科、音楽、体育、英語、保育、特別支援教育、学校心理の各専修の専門性を生かしつつ、初等教育と中等教育を統合して学ぶことのできるカリキュラムを編成します。
- ③1、2年次には、大学教育への導入のための「基礎セミナー」、基礎的な学力を養うための教養基礎科目を開講するほか、子ども理解・教職理解のために、「学校ふれあい体験」、「教育実践観察」等の体験型の科目を導入し、早くから子どもや学校現場に触れる機会を設けます。
- ④1年次から、教職の意義、指導法、生徒指導等を学ぶための教職科目、実践的な教師力の養成ならびに専門の学芸を教授するための教科科目を開講します。
- ⑤教科科目は、教師力の養成を主眼として、各専修の基盤となる学問の体系に基づき、精選した内容で開講します。
- ⑥3年次には「専門演習」、4年次には「卒業研究」を必修で開講し、専門的な知識・技能を深めます。

以上のカリキュラムを通じて、教育者、保育者等の専門的職業人がもつべき知識と技能、豊かな人間性を育みます。